

5 本時の学習計画

(1) 活動テーマ 「男鹿市がさらに発展するためにはどうしたらよいか」

(2) ねらい

男鹿市の発展を考えるシンポジウムを通して、自分で考えたことをグループで話し合い、整理してまとめることができる。

(3) 展 開

時間	生徒の学習活動	教師の活動(主な発問, 指示, 支援, 教材等)
3	1. 主任から本時の流れを聞く。	・本時の学習の趣旨を理解できるようにさせる。
2	2. ゲストティーチャーの紹介を聞く。 (紹介 西根)	・秋田県総合教育センターとTV会議システムで通信し、紹介する。
30	3. シンポジウムを行う。 「男鹿市をさらに発展させるためにはどうしたらよいか」 パネリスト 各グループ代表6人 司会者 生徒2名 アドバイザー ゲストティーチャー	・大切なことはメモをとり、自分の考えが深まるように話すことをよく聞くように支援する。
10	4. フロアからの質問・意見発表を行う。	・自分の意見を大きい声で明確に伝えられるように指導する。
5	5. ゲストティチャーから講評を聞く。 ～ 教室へ移動 ～	・話し合いを振り返りながら、講評を聞くように指導する。
20	6. シンポジウムを終えて学んだことを紹介しあい、自分たちのまとめたマニフェストを再検討する。 男鹿市がさらに発展するためのマニフェストを見直そう。	・円滑に行えるように班長が進行しているかを確認する。
4	7. 今日学んだことをまとめる。	・自分の考えを自分の言葉で記述できるように支援する。
1	8. 各班で次時の活動を聞く。	

(4) 評価方法 学習シートの記入内容で評価する。

評 価	男鹿市がさらに発展することをグループで話し合い、自分の考えを自分の言葉でまとめることができた。
評価方法	発言内容 及び 学習シート